



NUTEC  
SPECIAL SHOP  
INTERVIEW

# ワタシが NUTEC を選ぶ理由

プロが語るオイル & ケミカル事情

## 第3回 | K's Factory

Text & Photo/Kazuma Takagi 高城一磨  
取材協力/ケーズファクトリー Phone 045-362-8195



## お客の目線でモノを見る、ブレない軸はやがて信頼へとつながる

ニューテックのスペシャルショップ紹介も第3回目。今回は横浜にあるケーズファクトリーだ。オーナーひとりで切り盛りする小さなショップだが、その目線は常にお客さんと同じ位置にある。



曜日によっては、夕方から夜にかけても仕事帰りに立ち寄る常連客で大賑わい。加成さんとお客さんのやりとりは敷居というものがなく、気の合うバイク乗り同士の会話そのものだ。アットホームである。

オイルケミカル業界の中では新興勢力にも関わらず、ニューテックがこれだけ急速に認知されてきた背景には、他にない性能を持つており、プロメカニックの持つ頑なさを崩してきた結果に他ならない。メンテナンスやチューニングをする上で、自分の経験値を最大の拠り所とする彼らは、噂や評判だけでは容易に動かない人種だ。今回紹介するケーズファクトリーの加成(カナリ)さんも、その1人。「正直、オイルやケミカルなんかどれも一緒と思っていたんです。もちろん、様々なものを使いましたよ。メーカー純正に始まり、BPやELF、モチュールなど有名ブランドも多数。大概はお客さんのリクエストに応じて使います。交換サイクルも3000km前後と、メンテナンスの基本を守ってくれる人が多いから、名の通ったオイルを使えば間違いないです」キッカケは、いけないと言うオイルをニューテックの営業が置いていった事。試しに使えば確かにレスポンスはいい。でも、まだ半信半疑。どのくらいその性能は保つのか？レスポンスがいいということは低抵抗、圧縮抜けは起きないのか？トータルで見てもこの価格は妥当なのか？より多くの製品に接する立場だからこそ、お客の立場に立つてモノを見る。「モノを選ぶ際に、まず金額から入る人もいますよね。当然です。皆さん限られた小遣いをやりくりして、バイクを楽しんでいるのですから。でも、単純に安く



●ブレーキフルード



吉田 律さん & CBR1000RR

ブレーキフルードでこれだけ変わるのか、というのが正直な感想です。ノーマルからRP320に交換しただけですが、効き始めのレスポンスが確実に早くなりました。純正が一瞬間を置いてからググッと効くのに、RPは指にチカラを入れたらすぐに反応する。街乗りでは、ブレーキレバーにかけると指が3本から2本に減りました。他社製品を使ったとき、FISCOの本コースの連続走行でタレたことがあったのですが、RPはそれもない。唯一、価格が気になりますね。



●グリス



吉田昌晃さん & YZF-R1

なんにでも使えるニューテックのマルチパーパスグリスですが、よく伸びるためチェーングリスにも使っています。洗車時にわかったのですが、フリクションを抑えるだけではなく使用量を控えめできるから、意外にゴミを呼びません。もう1台ゼファ1100があり、そちらに他社製グリスを使っていますが、峠やサーキットばかり走るR1の方がスプロケットの消耗が遅いには驚きました。僅かな量でも、金属間でしっかりフリクション材になっているようです。



●エンジンオイル



下重裕数さん & CBR1000RR

今のCBR1000RRは、新車からニューテックのエンジンオイルを使っています。その性能を知ったのは以前乗っていたCBR900RRで、それまでの有名化学合成油からアイドルリングが600rpmくらい上がったんです。フリクションが減ったのでしょね。最初NC-50だけで使っていましたが、メーカー指定粘度より硬く高回転で重かった。今はNC-51をブレンドしています。冬場に51だけでサーキットも含め走りましたが問題ないので、今度は夏場も51だけで試そうと思っています。



オイル交換をしただけで、アイドルリングが上がりました

スプロケットの消耗スピードも抑えることができますよ



K'sでは、リッターバイクの性能を安全な環境で堪能できるサーキット走行会にも積極的に参加。愛車を自分好みのマシンに仕上げる楽しさを、良心的に手伝ってくれる。

「好みの結果の出なかった車種もありましたよ。HDの883だったかな。エンジンは95度までしか上がらなかつた。ニューテックを選んだけど……」  
ニューテックの入りが悪いというZRX1100に使ったことからだ。エンジンオイルをNC50に変え、しばらく走ると動きが軽くなっていることに気が付いたという。その後、純正オイルに戻したら以前と同じ状態に戻ったとか。また空冷マルチを使い、真夏の渋滞路でオーバーヒートテストをしたときも、他社製品では油温110度を超える状況の中、NC50は95度までしか上がらなかつた。「好みの結果の出なかった車種もありましたよ。HDの883だったかな。エンジン」



ユーザー本位な、量り売りとブレンド

ブレーキフルードは大概500ml前後の缶で売られているが、これは前後ブレーキのフルードを交換しても約2回分の量。一度開封するとグリコール系フルードは湿気を嫌うだけに、次の交換時期まで初期性能を維持するのは実際難しい。そんな状況を考慮し、K'sでは必要量だけ使える量り売りを行っている。購入価格も抑えられると好評。またエンジンオイルは好みの粘度に調整できる、ブレンド売りも行っている。

「内部のクリアランスが大きいのか、それまでのトルクフィーリングが変わってしまったのです。不具合というワケではないのですが、オーナーと相談した結果「このエンジンには合わないね」という結論に。この辺りは、乗り手の嗜好の違いも関わるところですよ。レースなどで絶対性能を求められた製品が、必ずしも全てのエンジンや条件をカバーするものではない。そんな一例でしょう」  
その人のバイクの性能、好む乗り方を踏まえた上で、新たに求めるものがあるのかどうか。好みに合わせコンディションを揃え、安定した条件で楽しんでもらう。そして、そこに新たな提案として「ニューテックを含めた新製品をお客さんとともにテストし、遊んでみる。」  
「ニューテックはいいペースで新製品を出すから、試す楽しみが途切れなくていい。お客さんはスパーパーツやネイキッド系が多いですけど、性能的にはもう十分でしょ? だから、コンディション維持に気を遣っています。何も大したことをしているワケではなく、修理屋として当たり前のことをしているだけです。」



愛車の乗り方や予算に応じ、安心して楽しめるお手伝いをします

「バイクはもちろん乗って楽しむもの。でも、乗り方やスピードは人それぞれです。友人と一緒に走るのはやはり楽しいですけど、バイクの仕様や走り方で無理して皆に合わせる必要はない。自分で楽しい、心地いと思える走り方や仕様があるはずでは」という加成さん。フレンドリーな兄貴分は、そんな探しモノなら喜んで手伝ってくれる。

■営業時間:10~19時 ■定休日:火曜  
■住所:神奈川県横浜市旭区善部町17-5 ■電話:045-362-8195



**速報! ニューブレーキフルード RP300登場!**

RP320の性能そのままに、もっとリーズナブルなブレーキフルードを! そんな声に応え、ニューテックから新製品「RP300」がリリースされた。ドライ沸点を300度に落とすものの、レースへの使用もOK。高速レンジの連続使用でも鋭いタッチを保ち、またABS用の細いブレーキラインに対応した流動性を確保するなど、相反した性能を両立。価格もRP320の6825円に対し、3570円と、かなりお得だ。